

GIGA時代の大学認証基盤 を考えてみた

AXIES認証基盤部会
主査 中村(東京大学)

GIGAスクールの現状(の個人的な認識)

- 1人1台端末 & クラウドサービス活用
 - 中学は端末展開済み、高校は自治体・学校毎に対応がマチマチ？
- Google, Microsoft, Apple等のアカウントを生徒に配布？
 - ID・パスワードが類推可能だったり、端末に紐付いた管理だったりすることもある？
 - パスワードの変更が制限されたり、パスワードを学校が把握していたりすることもある？
 - 「下駄箱」方式？（「3年B組1番」etc.
- 多要素認証のハードルは高い？
 - 大学でもまだまだハードルは高いですが ...
 - 「QRコード」方式も活用されている？（多要素認証ではない？）
- 「学習を阻害しない」「管理業務を効率化する」端末 & ID管理が現実
 - パスワードは邪魔？

そうはいっても全生徒がクラウドな
「GIGA」アカウント
を使ってるようなので...

大学IDに対する感覚が変わる？

- これまで: 大学ID、大学”システム”を使うために初めて「使わされるアカウント」?
 - 教務:{履修登録、成績、掲示板}、LMS:{授業資料、出席}、ICT:{PC、メール、ドライブ、WiFi、VPN}
 - プライベートでスマホ使うのに AppleやGoogle, TikTok, LINEのIDは使ってたんだらうけど
- これから: 大学ID、「**GIGAと同じなのね**」
 - 小中高校でもクラウド使うのに「学校 ID」は避けて通れない
 - 教材、ノート、etc.

ライフサイクル？

- 入試出願時は「GIGA」アカウントで？

- 浪人生は出身校 or 予備校？

〇〇.〇〇@〇〇高校.ed.jp ?

- 個人のSNSアカウントとの違いは？ 「トラスト」？

- あるいは ”マイナンバーカード”？

- 大学入学共通テストの受験にマイナンバーカードを必須にすれば

「GIGA時代の大学認証基盤」にはほど遠いかもしれず

- 全生徒が端末とクラウドアカウントを日常的に使用しているなら
 - 大学入試DX？ 高大接続DX？

- 話は逸れますが「情報」「情報セキュリティ・情報倫理」教育も変容する？
 - 語学や数学のように？
 - 例えば、キーボードの使い方は教えなくてよくなるのかな ...